



Proxy Configuration

この章では、Admin Portal の Proxy Configuration オプションについて説明します。

このオプションでは、Cisco Unified Mobility Advantage Proxy Server が Managed Server と通信するように設定できます。

Proxy Server の概要

Proxy Server は、クライアントからのメッセージの受信、セキュリティの強化、および Managed Server との情報交換の処理を行います。

Proxy Server は、クライアントからの次の 2 種類の要求を処理します。

- 無線によるアプリケーションのダウンロード要求
ユーザが電話をプロビジョニングまたはアップグレードし、Cisco Unified Mobile Communicator を無線でダウンロードするときに、このようなメッセージが受信されます。
- データ同期要求
このような要求により、Cisco Unified Mobile Communicator は電話データをサーバと同期させます。

Listen Ports

Listen Ports は、Proxy Server が Cisco Unified Mobile Communicator との通信に使用するポートを設定したり、Proxy Server の SSL 証明書ストア ファイルの保存場所とパスワードを設定したりする場合に使用します。

Proxy Server のリッスン ポートを設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Proxy Configuration > Listen Ports を選択します。

ステップ 2 表 9-1 に示す情報を入力します。

表 9-1 Listen Ports

フィールド	定義
Incoming Client Port	クライアントからの標準の日常通信に使用されるポート。
Certificate Location	Proxy Server の SSL 証明書ファイルの保存場所。
Certificate Password	証明書ファイルに関連付けられているパスワード。
Incoming Provisioning Port	ユーザが無線による Cisco Unified Mobile Communicator のダウンロードを選択した場合に使用されるポート。

ステップ 3 Submit をクリックします。

ステップ 4 Proxy Server を再起動し、設定値を有効にします。

Managed Server

Managed Server は、Proxy Server が Managed Server との通信に使用するポートを設定する場合に使用します。

Managed Server ポートを設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Proxy Configuration > Managed Server を選択します。

ステップ 2 表 9-2 に示す情報を入力します。

表 9-2 Managed Server

フィールド	定義
Host Name/IP Address	Managed Server のホスト名または IP アドレス。Proxy Server がホスト名を解決できる必要があります。
Client Port	Managed Server の SSL クライアント ポート。このポートは、Proxy Server が Managed Server とデータ同期のための通信に使用します。 デフォルトは 5443 です。
Provisioning Port	無線によるアプリケーションのダウンロード要求を処理する Managed Server のプロビジョニング ポート。このポートは、Proxy Server が Managed Server とプロビジョニングのための通信に使用します。 デフォルトは 8080 です。

ステップ 3 Submit をクリックします。

ステップ 4 Proxy Server を再起動します。

